

「文字なしラベル」は語る

Collecting "labels without letters"

チャーオ、シーナです。日本のお酒は、清酒も焼酎もウイスキーも、ブランド名を書道文字で書いたラベルが多いですね。世界中どこでも、ラベルにはブランド名が書いてあるのが普通。でも、最近、正面ラベルに文字がなくて、絵や図像だけの商品を見かけます。今回は「文字なし」ラベルの商品を集めました。文字があってもこくわずか、の商品を含みます。「目は口ほどに物を言う」にならってというなら、「絵は文字以上に商品語る」、ですね。比較のため「文字だけ」ラベルも収載します。(text & pictures = Sienna K. Emiri + T. Kita)



シーナの私的考察

「絵 vs 文字」: 「看板」の中国語には「招牌」と「望子」の二つの表現があるそうです。前者は「字看板 = Letter sign board」で、後者は「絵看板 = Symbolic sign board」。「招牌」は文字の読める人を「招」き入れるために、「望子」は文字が読めない人が遠くから「望」んでわかるように、という意味です。絵には文字を超えた説得力がありますね。

写真左上から: ●香港の街中でよく見る「質屋」の看板で、「望子」の流れを引く「招牌」。上は中国では幸福の象徴の「蝙蝠」の形、下は「コイン」の形、「押」の字は質入れを意味する。●モロッコで見た「歯医者」の絵+文字看板。質屋も歯医者も文字より図形のインパクトが強い。●お酒の図形2例:「剣菱」と「ヤマノボシ」。どちらも当社で製造させていただいているキャップのロゴでもある。後者は八戸酒造(陸奥八仙)の屋号で、右肩の小さな「●」が星。日本で「★」が星になったのは近代以降だそうです。●ビール「★」マーク2例:「サッポロ」と「ハイネケン」。両社とも1870年代の創業。●スペインをドライブすると平原に忽然と、でも繰り返し現れる、巨大絵看板2種、「ソムリエのギターリスト(実は、びんのかたち)」と黒一色の「牡牛」。文字はないが誰もがシェリー酒の広告だと知っています。●20年ほど前まで東北をドライブするとよく見かけた「酒は大七」の文字看板。道のないような山中にあるのが特徴でした。綺麗な白を維持するのはさぞ大変だったでしょう。

